

# 新人ナース Diary 第3回

5階病棟

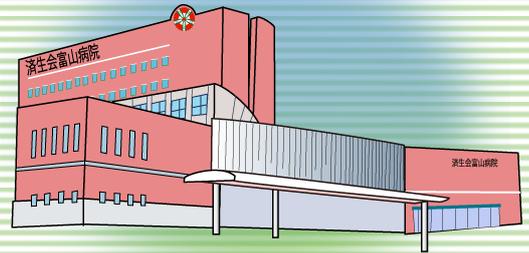
はじめての夜勤 準夜編



中山 智恵



中村 信の



今までは、夜勤は忙しいと聞いていたけど・・・夜ということもあり処置や検査、手術などが無いから日勤よりは忙しくないのかなと思っていました。

今までの夜勤のイメージは

- ・夕方からの仕事は気持ち的にやる気スイッチが入り辛そう・・・
- ・一人で受け持つ患者の人数が多くてキャパオーバーになりそう・・・
- ・PCI や EVT などの術後患者を引き継いでみることもあるため気を張り詰めそう・・・

緊張でいっぱいでした。自分ひとりでたくさんの患者さんを看られるのが不安な気持ちでいっぱいでした。また、準夜ということなので何時に起きて何時に家を出ようかととても迷ったりしました。

はじめての夜勤の前は・・・

- ・急変が起きたらどうしよう・・・
- ・緊張しているし家にも落ち着かないし眠れない。
- ・夜間の患者さんはどんな感じ??

準夜帯は、出勤して病棟に行くとまだたくさんの看護師や助手、医師、PTの方々がおられたり、検査・手術があったり人の出入りが多くバタバタしていましたが、徐々に人の出入りが少なくなってきて暗くなっていく時刻になると日中と違って静かだと思いました。

夜の病棟では

思ったよりもあっという間に時間が過ぎていった。



看護師は少ない人数で大勢の患者さんを見ていたので、バイタルサイン測定や点滴など優先順位を決めて回る必要があったり、ナースコール・モニター音・センサーの音が鳴ればすぐに駆け付け対応し行動する必要があったため、すごく忙しいなと感じました。

私は、うっかりミスが多い方だが、先輩方の手厚いフォローがあるおかげで、一人で全部背負い込まず、適宜相談しながら業務を進めていくことができ想像していたよりは安心した。

患者さんが亡くなり後半からバタバタな日だったが、先輩方は冷静に主治医や家族、葬儀屋に連絡を進めており、遺族の方に精神的な配慮を行いながら丁寧に対応していた。エンゼルケアの際も優しく声をかけながら最後までその人らしさを尊重した関わりをしており、プロとしての意識の高さを実感した。

今後の抱負・・・



- ・夜勤の1人立ちです！先輩に言われなくても、経過表の入力、点滴実施、看護記録、バイタルサイン測定、その他処置などを漏れなく行えるように頑張りたいです。少しずつですができることも増えて日々学ぶことばかりなので忙しいですが、充実感があってこれからも頑張ろうと思います。
- ・どんなに時間に余裕がなくても、業務に追い詰められていても、先輩方のように“看護師”であることを念頭に置き、最後まで患者さんやその家族と丁寧に向き合い、患者さんにとって記憶に残り続けるような看護を提供できる看護師になりたい。そのためには看護とは何かを先輩方の技術を見て自分のものにしていこうと思う。